

<p>【タイトル】 きたかんスコラ@南幌 「南幌でフットパスを学ぼう！」</p>	
<p>【日時】 平成 24 年 5 月 12 日 (土) 13:00~18:30</p>	<p>【場所】南幌町 (講義) ふるさと物産館ビューロー内会議室 (実体験) 南幌町内 (幌向運河歴史ルートの一部)</p>
<p>【参加人数】 20 名</p>	<p>【その他】 NPO 法人 ふらっと南幌のホームページに掲載されました http://www.flat-nanporo.com/footpas/240512kitakan/20120512kitakan.htm</p>
<p>【プログラム】 Part I 講義「フットパスを観光に、まちづくりにどう活かすか」 講師：濱田 暁生 氏、近藤 長一郎 氏 (NPO 法人 ふらっと南幌) Part II 実体験「着地型旅行、受入側の話」 地元ガイド：近藤 氏、市川 氏 (NPO 法人 ふらっと南幌) ゲスト農家：佐藤 氏 (佐藤農園)、石川 氏 (石川農園) Part III 懇親会 with 南幌ジンギスカン (なんぼろ風蔵)</p>	
<p>【概要 (100 字程度)】 「フットパスを観光に、まちづくりにどう活かすか」をテーマとして、Part I では、南幌でフットパスを通じた地域づくりに取り組む濱田さんと近藤さんから取組の経緯と効果等について、Part II では、実際にフットパスコースを散策し地元ガイドやゲストのお話を聞きながら「フットパスと観光・地域づくりの可能性」等について、参加者と地元の方々と意見交換を行った。</p>	
<p>【内容】 Part I (講義) ○活動経緯 ・平成 18 年頃、有志でフットパスを開始 →楽しく、柔軟に、地域らしくをモットーに ・平成 21 年には「NPO 法人ふらっと南幌」設立 →自主活動財源確保を視野に置いた法人化 ・毎月第 3 日曜日に「月例フットパス」を開催 →活動が活発化 (多彩なコース設定、地元ガイド育成等) →必然的に通年化 (冬はかんじきフットパスが人気) →月々の特徴を出す工夫がされている ○フットパス活動のポイント ・地元にある資源にスポットを当て磨きをかける ・歩きやすく安全なコースの適切な設定が必要 ・地元詳しいガイド人材のサポートが必要 ○フットパスの可能性 ・“つながり”と“ふれあい”から生まれる可能性 ・「地域を元気にする取組」としてのフットパス ・地域間の連携や空港からのフットパスの道の整備など、ロングトレイルがポイントになる</p>	<p>Part II (実体験：フットパス散策) 当日は強風と季節外れの寒さのなか、当初予定していた幌向運河歴史ルートの一部をさらに短縮して散策しました。 以下に、主に立ち寄ったポイントを記します。 ○木々の生い茂る「国有保安林」 二輪草ほか、様々な野草が春の訪れを表現しています ○運河沿いの道と田園風景 一直線に伸びる農道と水路、水平に広がる水田は圧巻の景色 ○幌向運河 明治時代の面影を今もそのままの形で残している北海道四大運河の一つ ○旧幌向駅通 開拓期の北海道で輸送拠点として重要な役割を果たした駅通 ○有機栽培に取り組む「佐藤農園」と「石川農園」 有機栽培における野菜や土づくり、環境づくりに対する生産者の思いと甘いアスパラ、温かいお茶の細やかなおもてなし</p>
<p>【写真】</p>	
	